

各位

主催：北海道大学産学連携本部，地域イノベーション創出研究会

「産学連携，MOT ケーススタディ研修会」開催について（ご案内）

1．目的

新事業の創出やイノベーションの創出において，MOT（Management of Technology）を実践することや産学連携を活用することが非常に重要となってきました。産学連携での新事業創出の実例を用いたケーススタディは，関連する知識の理解を深め，その使い方を理解するために有効な手段と考えられています。産学連携によって事業化を実現した中小企業の事例に基づき作成した教材を用いて，MOT や産学連携の理解を深めるケーススタディ研修会を開催します。

これまで産学連携で研究開発を進めてきたがどうもうまく行かないと思っている方，これから新規事業を行っていく上で産学連携を活用したいと思っている方，あるいは，産学連携をどのように支援していけば良いか悩んでいる方など，多くの方に効果があると期待されますので，是非，ご参加ください。

2．開催日時，場所

日時：平成23年9月27日（火） 13：00～17：00

場所：北海道大学 創成科学研究棟 4F セミナー室 B,C

（〒001-0021 札幌市北区北21条西10丁目）

<http://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/location-access/>

3．プログラム

- 13:00 - 13:15 全体説明
- 13:15 - 13:45 自己紹介（受講生）
- 13:45 - 14:00 グループ討議準備，休憩
- 14:00 - 15:15 ケーススタディ ケース1
「新事業創出での産学連携の特徴とその効果」
- 15:15 - 15:30 休憩
- 15:30 - 16:45 ケーススタディ ケース2
「中小企業の新規事業立ち上げにおける MOT」
- 16:45 - 17:00 アンケート回答

4．受講対象，参加費

大学や公設試などの研究機関などにおける産学連携の支援スタッフ，産学連携コーディネータ，研究者や企業の研究・開発担当者，経営者などを対象としています。

定員は，20名程度を予定しています。

参加費は，無料です。

5．講師

- 北村 寿宏（島根大学 産学連携センター 教授）
- 伊藤 正実（群馬大学 研究・産学連携戦略推進機構 教授）
- 川崎 一正（新潟大学 産学地域連携推進機構 准教授）
- 藤原 貴典（岡山大学 研究推進産学官連携機構 准教授）
- 丹生 晃隆（島根大学 産学連携センター 講師）

6．ホームページ

<http://www.sgrk.shimane-u.ac.jp/MOT/sapporo-WS/>

【参加申込先，問い合わせ先】

地域イノベーション創出研究会 代表

北村 寿宏（島根大学 産学連携センター）

〒690-0816 松江市北陵町2番地 Tel：0852-60-2290

e-mail：kitamura**riko.shimane-u.ac.jp（送信時には**を@に変更してください）

【ケーススタディについて】

ケース教材

ケース1：新規事業展開における産学連携の特徴や効果を理解する教材

4つの事例の概要を例示し、産学連携による事業化の進め方を比較検討することで、産学連携の特徴、パターン、活用の仕方などを比較検討し、産学連携の特徴とその効果について理解を深めることを目的とした教材。

ケース2：産学連携の使い方やMOTの理解を深める教材

「研究開発が終わり、製品ができたが、思うように売れない。今後、どのように支援していくか？」を主題に議論しその後をシミュレーションする。どこかにボトルネックがあるような状態を提示し、その後の展開についてグループで議論し、解決に向けての方針や実行項目、計画を検討し提案してもらう。産学連携の使い方やMOTの理解を深めるための教材。

実施方法

ケーススタディでは、4～6人程度のグループを構成し、事例をもとにその課題について議論し、グループとしてのまとめを行います。また、グループのまとめの発表を行い、グループ毎の違いや新しい気づきにつなげます。時間配分は、説明(5分)、グループ討議(30分)、まとめ(15分)、発表(15分)、解説(10分)の計75分を予定しています。

ケース教材の予習

ケース教材は、グループ討議がスムーズに行えるように、事前に配布し、可能な限り予習(一読)を行うことを前提としています。ケース教材は、ホームページから各自ダウンロードしてご準備していただきます。ホームページのアドレス等については、参加申込者にご連絡いたします。

期待される効果

MOTについては、多数の専門書が販売される、関連するセミナーが開かれる、一部の大学で専門職大学院が設けられるなど、知識の習得は容易になりつつあります。しかし、習得した知識の使い方を学び、その理解を深めることは、十分にはなされているとは言えません。実例を用いたケーススタディは、関連する知識を用い、自ら考え、他の異なった意見も聞けることから、習得した知識の使い方を学び、その理解を深めるための有効な手段と考えられています。

これまで、産学連携から実用化に至った実例を調査し、それを元に教材を作成してきました。その教材を用いて、産学連携のパターンや活用する方法、その効果について理解する、あるいは、理解を深めることができます。また、産学連携を活用しどのように事業まで展開していけばよいのかをシミュレーションすることでその過程を疑似体験することができ、理解を深めることができます。

この研修では、グループ討議を主に行うため、セミナーなどの座学と異なり、自ら考え発言し、かつ、他の方の意見も聞けることから、能動的に理解を深めることが可能となります。さらに、これまでの経験や知識の整理を行え、それらをどのように活用すればよいかについての理解を進められることが期待できます。

その他

本研修は、科学研究費補助金(基盤研究B)の交付を受けて行われている研究課題「地域イノベーション創出の人材育成用教材の開発と創出のモデル化(課題番号21300292 H21～23年度)」の一貫として行われます。

参加申込

宛先 島根大学産学連携センター(北村) e-mail: kitamura@riko.shimane-u.ac.jp

TEL 0852-60-2290 FAX 0852-60-2395

「産学連携, MOT ケーススタディ研修会」に参加いたします。

ご氏名		
所属先, 部署名		
ご連絡先	住所	〒
	TEL	
	e-mail	

(お手数ですが、上記内容をFaxまたはe-mailでお送りの上、お申し込みください。上記様式でなくても結構です)